

事務事業名		大船渡市公共下水道事業運営審議会運営事業		☐ 実施計画登載事業	☐ 合併建設計画登載事業																								
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間	予算科目																								
	施策名	04 良好な河川・港環境の保全																											
	基本事業名	01 公共下水道等の整備																											
根拠法令		大船渡市公共下水道事業運営審議会条例		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成4 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	13 01 01 01 01																								
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所																											
	課長名	千葉 譲																											
	係名	管理・普及係	電話 0192-27-3111																										
	担当者	大平 博光	内線 197																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市長の諮問機関として、公共下水道事業の整備計画や運営について審議する事業。 ・主な業務は、委員(識見を有する者(4名)、下水道事業受益者及び下水道使用者等(6名))の委嘱(任期2年)、委員への連絡、会議資料作成等を行う。 ・事業費は、委員への報償費、旅費として支出される。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
	人件費	正規職員従事人数																											
延べ業務時間																													
人件費計(B)		0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・運営審議会の開催 議題等: 下水道事業の進捗状況、平成27年度公共下水道事業実施状況と平成28年度計画の報告等 ・委員の補充(2名) 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・運営審議会委員の任命事務(団体への推薦依頼、任命、退任委員への礼状送付等) ・運営審議会の開催 議題等: 公共下水道事業進捗状況、平成28年度事業実施状況、平成29年度事業計画等(報告)、公共下水道事業計画等の変更、消費税の引き上げに伴う使用料の改定等(諮問)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 審議会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 審議会開催回数	回	イ		ウ	
名称	単位								
ア 審議会開催回数	回								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 公共下水道事業運営審議会	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 審議会委員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 審議会委員数	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 審議会委員数	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公共下水道事業の整備計画や運営について意見・質問をしてもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 審議会委員から出された意見・質問数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 審議会委員から出された意見・質問数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 審議会委員から出された意見・質問数	件								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。									

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）	
投入量	事業費	財源内訳	単位	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）	
			国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円	55	115	92	48	42	106
		一般財源	千 円							
		事業費計（A）	千 円	55	115	92	48	42	106	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	8	13	13	30	80	50	
		人件費計（B）	千 円	32	52	52	120	320	200	
トータルコスト(A)+(B)		千 円	87	167	144	168	362	306		
⑤活動指標			ア	回	1	2	2	1	1	2
			イ							
			ウ							
⑥対象指標			カ	人	12	10	10	10	10	10
			キ							
			ク							
⑦成果指標			サ	件	5	9	8	3	7	10
			シ							
			ス							

事務事業ID	0695	事務事業名	大船渡市公共下水道事業運営審議会運営事業
--------	------	-------	----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成4年11月まで公共下水道調査会を設けていたが、下水道供用開始が近づき、公共下水道事業の円滑な運営を図るために平成4年12月に本審議会を設置した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

公共下水道事業は、盛町と大船渡町(下船渡分区の一部を除く)の整備がほぼ終了し、赤崎分区の上三区・中赤崎区域の管渠整備を中心に事業を進めていたが、H23.3.11の大震災により、甚大な被害を受けた。このような中、平成24年度には、当審議会から事業計画見直しの答申を得て、新たな区域への拡大が決定されるなど、その役割は重要性を増している。

また、平成24年5月に、市議会から、当審議会を含む市の各種審議会等からの議員の委員辞職及び議会推薦の取りやめの方向が示されていたことから、平成24年度、委員数及び構成員数を見直し、条例改正を行った。(総数12人→10人 議員4人→0人 識見者4人(同) 受益者等4人→6人)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 公共下水道事業の推進は、大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質向上を図るものであり、市の政策体系の自然豊かな環境の保全と創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市が実施する公共下水道事業を適正かつ公正に実施するため、市長の諮問機関として設置しており、公共関与は妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 市長の諮問に応じて開催しており、適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 審議答申等を事業に反映しており、適正である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の公共下水道事業について、受益者や有識者により検討審議する組織は他にはない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 庁内に、下水道事業専門に審議を行う類似事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 費用は、委員への報酬・費用弁償等必要最小限としており、削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 審議会の開催に必要な審議会資料作成・出席等に要する事務局として必要な最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 特別会計の下水道使用料等で実施している事業であり、受益者の負担は適正である。

事務事業ID	0695	事務事業名	大船渡市公共下水道事業運営審議会運営事業
--------	------	-------	----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 延べ業務時間は、審議会委員2名の補充、会議添付資料の見直しにより、増大した。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 特になし		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし																							

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 下水道事業所長	(氏 名) 千葉 譲
-------	--------------------------------	---------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 公共下水道事業運営審議会条例に基づき、必要な審議が行われている。 平成26年度から定期開催を2回から1回に減らしたが業務時間が増加してきており、効率的な運営を図る必要がある。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事務の効率化を図りながら、継続して事業を実施する。																					
		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●	○	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	●	○	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
